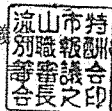




平成27年10月29日

流山市長 井崎 義治 様

流山市特別職報酬等審議
会 長 秋 元 篤



議会議員の報酬月額及び常勤の特別職の職員の給料月額について（答申）

平成27年10月29日付け、流人第129号で諮問のあったこのことについて、本審議会は、提出された資料をもとに慎重に審議した結果、下記のとおり結論を得ましたので答申します。

記

1 議会議員の報酬月額

議会議員の報酬月額については、一般職員の給与改定に準じて、平成23年12月1日に改定され現在に至っています。景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いており、民間の賃金や雇用情勢は、改善傾向にあります。

また、本市の財政状況は、つくばエクスプレス沿線整備や、子育てにやさしいまちづくりによる生産人口の増加などによって、市税収入が増加してきました。

このような状況を反映して、今年度の人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告で、一般職の公務員給与の引き上げが勧告されたこと等を考慮し、現行の額を引き上げることが適当であると判断いたします。

2 常勤の特別職の職員の給料月額

常勤の特別職の職員の給料月額についても、一般職員の給与改定に準じて、平成23年12月1日に改定され現在に至っていますが、議会議員の報酬月額と同様の理由から、引き上げることが適当であると判断いたします。

3 審議内容について

- (1) 消費者物価の上昇率、近隣及び人口規模が類似している他の公共団体の特別職の報酬等の状況、一般職の給与改定の状況、議会議員の活動状況等を精査し審議しました。特に経済の先行きについては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果や本市の財政状況が答申に影響を及ぼすものであるとの認識から、社会経済情勢及び財政状況に関する論議をしたところであります。
- (2) 議論の中で、現在の景気の影響が行き届いていない方々もおり、改定費用を市政のために役立てることも必要です。身の丈に合った改善が必要ではないか。また、人として見るのではなく、職として判断すべき。人口の多い少ないで判断すべきものではないなどの意見がありました。
- (3) 今後の社会経済情勢は緩やかな回復傾向に向かうことが期待される状況にあり、市民生活に密着した行政サービスの堅持・拡充、つくばエクスプレス沿線整備事業及び少子高齢化対策事業等々、重要施策の推進に関する経費の増加が見込まれることから、引き続き、計画的な財政運営と、人や企業から選ばれるまちづくりが重要であるという認識をしたところであります。

以上、昨今の社会経済情勢、本年度における人事院勧告等の内容を踏まえ、現行の額を引き上げることが適当であるとの結論を得たものであります。引き上げる以上は、次代に向かって更なる努力を望みます。